

みのんだ だより 9月号 VOL. 185+186

医療法人方佑会 植木病院
2026年9月1日発行

今も忘れられないあのひととの時間 生き切る強さを 私に教えてくれた、 宝物のような出会い。

植木ケアプランセンター
寺田恵里子 Eriko Terada

植木病院

これまで多くのご利用者に寄り添ってきましたが、その中でも、私が心から「あっぱれ」と感じた、忘れられない方との出会いがあります。

その方は、独居で末期の胃癌を患っており、在宅医、訪問看護師、薬剤師、訪問ヘルパー、ケアマネジャーが一体となったチーム支援が始まりました。父親を早くに亡くした過酷な子ども時代や、複雑な経緯で結婚されたご主人の長年にわたる認知症介護、痛ましい身内の不幸など…。振り返れば、あまりにも波乱に満ちた人生を歩んでこられました。

症状が進行して痛みが強くなるにつれ、その方からの「あれが食べたい、これが食べたい。」「買い物に行きたい。」といった要望が相次ぐようになりました。

ある日のこと――。

歩くのもままならないお身体でありながら、訪問看護師に「買い物に行きたい。」と急に訴えられました。「残された時間が短いからこそ、この小さな願いを絶対に叶えたい。」という看護師と私の思いが一致し、スーパーへお連れすることにしました。



やせ細った身体で買い物カゴに次々と食料品を入れていく姿には、「一体どこからこれほどの活力が出てくるのだろう」と不思議に思うほどでした。

周囲を振り回すその姿は、一見すると「わがまま」のようにも映ります。しかし裏を返せば、それは何もかもをご自身で決め、最期まで好きなことを貫き通す、その方ならではの、生き様そのものでした。

やがて病状が悪化して入院となり、痛みを緩和するための鎮静薬の投与が決まった日の朝のことです――。

「サンドイッチが食べたい。あそこサンドイッチじゃなきゃダメなの。」私はすぐにパン屋さんに連絡して特注をお願いしました。すでに水すら満足に飲めない状態だったにもかかわらず、届いたサンドイッチをその方は本当に美味しそうに召し上がりました。

私が「また来るわね。」と声をかけると、「ううん、もうすぐ点滴が始まるから、もう会えないかも…。サンドイッチありがと…。」その方は静かに首を振りました。これからご自身の意識が遠のいていくことを、静かに、そしてしっかりと受け入れておられたのです。

最後の最後まで自分の意志で決定し、好きなことを言い切って旅立ったその生き様は、本当にお見事で「あっぱれ」と言うほかありません。それと同時に、どこか少し羨ましくも感じられました。「その人らしく、生き切る強さ」を教えてくださいましたこの出会いは、私にとって大切な宝物の一つです。

これまで出会った方々との忘れられないエピソードは数え切れず、すべてをご紹介できないことが残念なほどです。これまで寄り添わせていただいたすべてのご利用者、そしてご家族の皆さまに、いま改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

植木病院からのお知らせ 開院 40 周年記念フェスタのご案内

- 日時
9月27日（日曜日）9時30分～14時00分
- 会場
長曽根町自治会館
- 講演 /10時00分～
「内科疾患とスポーツ（仮）」
講師／岡崎浩院長
- 岡崎浩院長スペシャル対談 /10時30分～
「生涯現役」
特別ゲスト／藤波辰爾氏（プロレスラー）

入場無料



藤波辰爾
Tatsumi Fujinami
● 生年月日／1953年12月28日
● 出身地／大分県国東市
● デビュー／1971年5月9日
● 身長・体重／183cm、105kg
PRO-WRESTLING DRADITION
ホームページより

- 健康ブース（参加無料）
歩き方チェックやお肌の水分測定など
- 大人気！キッチンカーがやってくる
焼きたてのメロンパンを先着300名様の方に無料プレゼント！
- うれしい♪来場記念品
先着500名様限定！！
オリジナルエコバッグ＆院長の似顔絵入り特製どら焼きをセットで贈呈いたします！

40 UEKI HOSPITAL
YEARS ANNIVERSARY

どんなサービスが受けられるの ～リハビリテーション～

リハビリテーション科
森下祐宏 Masahiro Morishita

通所リハビリテーション（デイケア）と訪問リハビリテーションは、病院から退院した直後や、今のご自宅での生活に「不便や不安」を感じ始めたタイミングで導入されるサービスです。

どちらも専門職による本格的なリハビリテーションが受けられるサービスですが、具体的な内容は「施設に通う」か「自宅に来てもらう」かによって大きく異なります。

今回は、それぞれの特徴や違いについて分かりやすく説明していきます。

1 通所リハビリテーション（デイケア）の内容

「預かり」や「他者との交流」が主な目的のデイサービスとは異なり、「身体機能の回復・維持」や「生活動作の改善」に特化しているのが大きな特徴です。

利用時間にはいくつかのタイプがあり、目的に合わせて滞在時間を選べます。

■ 1 日型（6～8 時間程度） 注）当院では 1 日型のデイケアは行っておりません
リハビリに加え、食事や入浴、レクリエーションもセットで受けられます。

■ 短時間型（1～2 時間程度）
食事や入浴はせず、病院のジムに通う感覚で「リハビリ」を集中して行います。
サービス内容としては、理学療法士（PT）や作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）といった専門スタッフによる、器具を使った筋力強化や歩行練習などの「個別リハビリ」が受けられます。
さらに、集団で行う運動やレクリエーションもあり、他者との交流を通じて認知機能の維持や、社会的な孤立を防ぐことにも役立ちます。

また、日常生活のケアとして、看護師や介護福祉士による食事・入浴・排泄の介助も受けられます。
介助が必要な方でも、安全に清潔や栄養を維持できるのが強みです。

2 訪問リハビリテーションの内容

リハビリテーションの専門職がご利用者の自宅を直接訪問し、実際の生活場面に即した訓練を行います。

■ 生活動作の直接訓練
「自宅のトイレに座る」「布団から起き上がる」「玄関の段差を昇る」など、実際の生活環境の中で訓練を行います。
「リハビリ施設ではできないのに、自宅ではうまくできない」といったギャップを埋めるのに非常に有効です。

■ 環境整備のアドバイス
手すりの設置位置や転倒しにくい家具の配置、福祉用具（歩行器や杖）の選定について、プロの視点から具体的なアドバイスを行います。

■ 介助方法の指導
ご家族に対して、腰を痛めない介助のコツや、本人の「できること」を引き出すような声掛けの仕方を指導します。

通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの特徴をそれぞれ説明してきました。
もし「介護保険サービスを利用したい」「どちらのリハビリが合うか迷っている」という方は、まずは担当のケアマネジャーに相談してみてください。

担当のケアマネジャーが、ご本人の心身の状況やご家族の希望を丁寧に聞き取り、最適なリハビリプランや、どこの事業所を利用するかをいっしょに考えて計画（プランニング）してくれます。



相談受付

通所リハビリテーションセンター
072-257-1771



植木病院ホームページ
通所リハビリテーションセンター

リハビリテーション科
072-257-0100



植木病院ホームページ
訪問リハビリテーション

通所リハビリ（デイケア）と訪問リハビリの違い一覧表

	通所リハビリテーション（デイケア）	訪問リハビリテーション
リハビリの場所	病院、老人保健施設などの施設	利用者の自宅
主な目的	体力の向上、他者との交流、社会参加	実際の生活環境に合わせた動作の改善
リハビリ内容	器具を使った筋力強化、集団での運動など	自宅のトイレや階段を使った実践的な練習
その他のサービス	食事、入浴、レクリエーション（施設による）	なし（リハビリのみ）
こんな人におすすめ	■ 外出する習慣をつけたい方 ■ 充実した器具で運動したい方 ■ 他の人と交流したい方	■ 通うのが体力的に難しい方 ■ 自宅の環境（段差など）で困っている方 ■ 1対1でじっくり指導を受けたい方

■ 選び方のポイント

外出ができて、仲間といっしょに楽しく体を動かしたい場合は通所リハビリテーション（デイケア）が向いています。自宅の階段の上り下りや、実際の生活動作をスムーズにしたい場合は訪問リハビリテーションがおすすめです。

※ケアマネジャーと相談して、両方のサービスを組み合わせて併用することも可能です。